

AEDを持ってくる



傷病者に反応がないことがわかったら、誰かにAEDを持って来るように依頼するか、他に誰もいない場合には、AEDが近くにあることがわかっていれば救助者自身が自分でAEDを取りにいきましょう。



AEDの準備

心肺蘇生を行っている途中でAEDが届いたら、すぐにAEDを使う準備に移ります。

AEDを傷病者の頭の近くに置くと操作しやすくなります。

機種によって、電源ボタンを押すタイプと、ふたを開けると自動的に電源が入るタイプがあります。

電源を入れる

電源を入れます。

電源を入れるとAEDから音声メッセージが流れます。

AED音声メッセージ

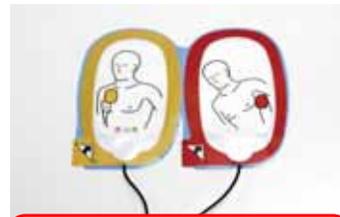
パッドを患者の胸に装着して下さい。



電極パッドを貼り付ける

胸骨圧迫は続けたままパッドを貼ります。

電極パッドは傷病者の肌にしっかり密着させます。



貼り付け位置は電極パッドにイラストで描かれていますので参考にしましょう。

心電図の解析

電極パッドを貼ると、自動的に心電図の解析が始まります。

AED音声メッセージ

心電図を解析中です。患者に触れないで下さい。

患者から離れて下さい。

必ず誰も傷病者に触れていないのを確認します。



電気ショックの指示が出たら

電気ショックと心肺蘇生の再開

ショック不要の指示がでたら



AED音声メッセージ

ショックが必要です。患者に触れないで下さい。ショックを実行します。ショックボタンを押してください。

必ず誰も傷病者に触れていないのを確認します。

除細動をします。みんな離れてください。「除細動実施！」

AED音声メッセージ

ショックは必要ありません。ただちに胸骨圧迫を開始して下さい。



心肺蘇生法を開始します。

心肺蘇生とAEDの手順のくりかえし

心肺蘇生を再開して2分(胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを5サイクルほど)経ったら、AEDが自動的に心電図の解析を始めます。音声メッセージにしたがって、以後、約2分間おきに心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。



救命の連鎖

絶え間ない胸骨圧迫！ 早期除細動！



田川地区消防本部 救急係

傷病者が動き出すか、また救急隊に傷病者を引き継ぐまで心肺蘇生とAEDの手順をくりかえして下さい。AEDの電極パッドは傷病者の胸から剥がさず、電源を入れたままにしておいてください。

絶え間ない胸骨圧迫！

胸の右上 (鎖骨の下で 胸骨の右)

胸の左下側 (脇の下 5~8cm)